

衛星利用の裾野拡大プログラム (宇宙利用促進調整委託費)

宇宙利用促進調整委託費～衛星利用の裾野拡大プログラム～は政府の宇宙開発利用の指針として決定された宇宙基本計画（平成21年6月2日宇宙開発戦略本部決定）において、「専門家にとどまらず潜在的な一般の利用者も含めた利用者の拡大を図るとともに、衛星データ等利用の利便性向上を図ることなどが重要である。」とあること等から、平成21年度に、宇宙利用の裾野拡大を目的として創設されたものである。

現在、測位衛星利用については、カーナビゲーションやGPS機能付き携帯電話など、国民生活の中に幅広く浸透しているが、準天頂衛星初号機「みちびき」の打上げ（平成22年9月）を契機に従来の衛星利用の枠を超えた新たな利用（基盤地図情報の整備・更新、IT農業の実現、気象予測システムの構築等）を開拓し、測位衛星の高度な利用を一層促進する観点から、平成22年度以降、測位衛星利用分野の裾野拡大に重点的に取り組んでいる。

衛星利用の裾野拡大プログラム (宇宙利用促進調整委託費)の実施例

- IT農業の実現に向けた準天頂衛星による高精度走行システムの実証実験

将来の農機などのIT自動走行を目標とし、準天頂衛星からのLEX補強信号を利用して、農機のアシスト走行の実証実験を行う。

